

名称等	令和3年度 沼津市市民憲章協議会総会の開催		
実施日時	令和3年5月24日（月曜日）13時30分～16時00分		
場所	沼津市民文化センター2階 大会議室 （沼津市御幸町15-1 TEL:055-932-6111）		
担当	沼津市市民憲章推進協議会事務局 事務局：企画部 地域自治課 直通055-934-4807 内線2283		

## 1 総会の内容（13:30～14:50）

- ・市民憲章唱和
- ・来賓祝辞（沼津市長、沼津市議会議長）
- ・市民憲章の賞 表彰式 10名（敬称省略）  
庄司 明弘（しょうじ あきひろ）、川嶋 恒雄（かわしま つねお）、  
勝又 逞光（まつまた としみつ）、竹本 あゆみ（たけもと あゆみ）、  
チーム：絆の森いっぽんまつ（ちーむ きずなのもりいっぽんまつ）、  
石川 弘之（いしかわ ひろゆき）、小川 政幸（おがわ まさゆき）、  
長澤 和子（ながさわ かずこ）、岡宮百笑い倶楽部（おかのみやひやくわらいくらぶ）、  
大平中学校3年生6名（当時）  
青木凜（あおき りん）、稲村健心（いなむら けんしん）、駿藤嘉輝（すんとう  
よしき）、永沼良兼（ながぬま りょうけん）、西山祇生（にしやま しき）、竹口  
悠斗（たけぐち ゆうと）
- ・市民憲章活動支援助成金採択団体による活動報告 2団体  
NPO法人 まごころサービス静岡東部センター  
NPO法人 日本沼津災害救援ボランティアの会
- ・総会議事

## 2 講演会概要（15:00～16:00）

- (1) 演 題 「地域おこし協力隊としての戸田での活動」
- (2) 講 師 前沼津市地域おこし協力隊 青山 沙織さん
- (3) 講師紹介

大学卒業後、神戸市役所、司法書士事務所、航空機メーカー勤務を経て、自分で発信して仕事がしたいと思うようになり、2018年4月に沼津市地域おこし協力隊に就任。日本で唯一の深海魚担当の地域おこし協力隊として、「駿河湾の深海魚アートデザインコンテスト」「深海魚フェスティバル」などを企画。他にも、深海魚の革を利用した工芸品の開発や、未利用の深海魚を活用した「深海魚直送便」などの事業を行なっています。

2021年3月に地域おこし協力隊卒業も、戸田地区にて上記活動を続けています。地域おこし協力隊として、戸田地区で行っていた様々な活動について、お話しいただきます。

## 令和3年度 市民憲章表彰者一覧

NO	団体or個人名	表彰概要
1	庄司 明弘	<p>平成20年ころから、千本松原内で花を植える活動を続け、人々の癒しの空間づくりと自然保護に努めています。併せて、保安林内の民間地や遊歩道沿いの下草刈りや清掃などを行っています。</p> <p>また、小学生の校外学習で地元の史跡や浮島沼の自然などについての講師を務めるなど、地区の歴史や文化、自然を後世に伝えていくため、様々な活動をされています。</p>
2	川嶋 恒雄	<p>川嶋さんは自治会のクリーン指導員として、ごみのステーションでのごの準備をしたり、分別や古紙回収作業に立ち会い、ごみの分別の仕方がわからない住民に分け方を指導するなどの活動をしています。</p> <p>このボランティアを始めて今年で14年目となり、地元住民や自治会の方から頼りにされているとのことでした。</p>
3	勝又 逞光	<p>20年近く、公園愛護会の会員として、地元の共栄公園の芝生の管理や植栽の剪定、花壇の手入れ等を続けてこられました。また、月に一度の公園清掃を呼びかけ、現在では、町内毎持ち回りで清掃活動を行っているそうです。</p> <p>このように、近隣住民や自治会と連携を取りながら、環境整備活動を進めているとのことでした。</p>
4	竹本 あゆみ	<p>P T A 役員の経験をきっかけに生まれたつながりを大切に、常に地域のためにと、献身的に多方面で活動されています。沼津市主任児童委員連絡協議会長、門池コミュニティ推進委員会広報部長などを歴任され、現在も、民生委員児童委員や学校支援コーディネーター等を務められるなど、教育、福祉、地域コミュニティ推進など多方面にわたり積極的に活動されています。</p>
5	チーム：絆の森いっぽんまつ (代表 村越征次)	<p>平成21年10月より千本松原の一本松地先にて、民有地の松林の下草刈りなどの保全、整備を行っています。他に、年に1回、市農林農地課からの依頼で松苗を植え、根付くように管理したり、松原内の雑木を拾い処理しています。</p> <p>このように、地域の名勝である千本松原の松林を保全し、次の世代に引き継ぐことを目的に活動しています。</p>
6	石川 弘之	<p>長年にわたり、グランドゴルフ競技の交流会を主宰され、年間70試合以上の競技会を実施し、会場設置や運営を担われてきました。年間成績をまとめ、大会で表彰を行うなど、参加者の意欲の向上に努められ、また、指導にもあたるなど競技力の向上も図られています。</p>
7	小川 政幸	<p>県の動物愛護協会に所属して以来15年以上にわたり動物愛護活動に取り組んでいます。</p> <p>小学校での動物のふれあい教室や、老人ホームでのペットによるふれあい活動などを行い、また、現在は災害時のペット同行避難について、市や自治会などと連携しながらその重要性についての啓発活動を行っています。</p>

8	長澤 和子	<p>華道草月流の一級師範としての活動の一方、昭和62年から平成18年まで、大岡地区センターで華道教室の講師を務め、その間、大岡地区コミュニティの役員も務められるなど地域に貢献されました。その後も大岡地区センターの窓口にご自宅で育てた花を活ける活動を一昨年までの約13年間続け、訪れる住民の癒しとなっているなど、華道を通して地域コミュニティの推進に貢献されています。</p>
9	岡宮 百笑い倶楽部 (代表 土屋 博和)	<p>岡宮公民館の玄関前の花壇の手入れをされています。景観向上を考え、花壇の手入れを始め、年に2、3回、メンバーが苗を持ち寄り花の苗の植え替えを行っています。 また、ここで育てた花を農協の支店や他の公民館に配り、地域に貢献されています。</p>
10	沼津市立大平中学校3年生 (当時)  青木凜 稲村健心 駿藤嘉輝 永沼良兼 西山祇生 竹口悠斗	<p>令和元年10月の台風19号により大平地区河川の氾濫等浸水被害が起きた際、友人宅の被害を聞いた同級生4名がゴムボートで飲み水等を届けました。翌日、もう一人を加えた6名で、居住区域内に流れてきた藁の撤去などを行ないました。また、大平内の被害が大きい地区の片付けや、床上浸水した高齢者宅の家具や畳の運び出しを行いました。 今回の彼らの行動は、自分たちのできることを行い地域に貢献しようとするものであり、思いやりのある行動は、市民憲章の精神を体現するものと思われます。</p>